



TOTTORI CHAMBER ORCHESTRA

とっとりチェンバー オーケストラ

『弦楽アンサンブルコンサート』 音楽監督：フェリックス・アーヨ（2016年11月6日 / とりぎん文化会館梨花ホール）

鳥取県にゆかりあるアーティストが集い、 弦楽の魅力を発信する

鳥取県文化振興財団が行うプロデュース公演は、特色ある地域文化の創造と発展、創造に重点をおいた舞台作品の上演を目指し、地域の文化活動者や県内外で活躍する県在住・出身者と財団が協働し、さらにはプロフェッショナルのサポートを受けながら、ともに舞台作品を創る事業です。

とっとりチェンバーオーケストラ（以下TCO）は、2016年10月に開催したプロデュース公演をきっかけに結成した、鳥取県出身・在住のプロ奏者による室内合奏団です。

県内における弦楽のあゆみを明治までさかのぼってふりかえり、鳥取県が弦楽文化の強化施策として行った事業やオーケストラ連盟の発足、プロを目指す奏者の支援環境など、弦楽に関わる状況把握を行ったうえで、コンサートの実施に至りました。2016年のコンサートでは、演奏者や活動団体、指導者、支援者のネットワークをつくる

ことを第一に、第二に県出身・在住の優れた演奏者の紹介と併せて弦楽の魅力を発信することを目指しました。

このつながりを一度きりで終わりにせず、これを契機にネットワークを広げ、深め、継続的に弦楽の魅力を発信する場をつくりたいという想い、そして将来的に管楽器を迎えた幅広いプログラムを演奏する合奏団に発展させていきたいとの思いから、室内楽を意味するチェンバーに名称変更し、「とっとりチェンバーオーケストラ」として活動を展開していきます。

一人ひとりの音楽に注がれる情熱はもちろん、鳥取に対するそれぞれの想いを背景に、奏者が自分自身と向き合い、主張し、そして他者と響きあうことで、この場でしか奏でられない音楽を創造していきます。未来に向けて奏でるTCOの響きにご期待ください。

音楽との出会いは、会場で。

目の前で奏でられる音楽には、魔法のような不思議な力があります。体に響いてくる音や美しいハーモニーに、うっとりしたり、心が温かくなったり、ドキドキしたり、心が動き出して、言葉にできないさまざまな感情が沸き上がります。とっとりチェンバーオーケストラは、鳥取県内のいろいろな場所で様々な方に向けたコンサートを行っています。会場みなさんにお会いできることを楽しみにしています。

ホールコンサート

弦楽合奏の醍醐味を感じられる、10～20人程度の編成で行うコンサート。今後、管楽器奏者や声楽家を迎えたコンサート、合唱団やダンサーと協働する企画などにも活動の幅を広げていきます。

親子向けコンサート・キッズコンサート

音楽に初めてふれる小さな子どもたちや、親子で気軽に楽しんでいただけるコンサートです。

学校訪問コンサート（とっりの芸術宅配連携）

鳥取県文化振興財団主催事業「とっりの芸術宅配便」の登録アーティストとして、鳥取県内の小中学校及び特別支援学校を訪ねて、弦楽器の特徴や音色の聞き比べなどを交えながら、生演奏ならではの音楽の魅力を伝えています。

アンサンブルクリニック（アーティスト育成プログラム）

音楽に親しむ若き演奏者の技術や意欲を育て伸ばすきっかけにしたいとの願いで、地域の指導者と共に、メンバーが講師となって指導しています。地域を越えた子どもたちの交流と学びの場です。



鳥取県文化振興財団プロデュース公演〈音楽〉

TOTTORI CHAMBER ORCHESTRA

とっとりチェンバー オーケストラ

公演スケジュールなどの最新情報や
メンバープロフィールはこちら >>>>



企画・監修：山田 衛生（鳥取県オーケストラ連盟副会長 / 鳥取県合唱連盟理事長）
プランニング・アドバイザー：門脇 大樹
主催・制作：（公財）鳥取県文化振興財団
【お問い合わせ】（公財）鳥取県文化振興財団 とりぎん文化会館
TEL. 0857-21-8707

音楽・演劇・バレエ・伝統芸能などの公演情報が届く！
インターネットでチケットが買える！

鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス【要登録 / 無料】



発行 / 2020年7月



鳥取県に
ゆかりのある
プロの音楽家が集う
室内合奏団

音楽への情熱と、故郷への想いをつなぐ

鳥取県文化振興財団プロデュース公演〈音楽〉

TOTTORI CHAMBER ORCHESTRA

とっとりチェンバー オーケストラ

弦楽器

マツやカエデなどの木材でつくられた胴体に、4本から5本の弦が張られています。馬のしっぽの毛で作られた弓で弦をこすったり、指ではじいたりして弦を振動させることで、胴体全体に「共鳴」し、美しい音が響きわたります。



ヴァイオリン

弦楽器の中で最も胴体が小さく、高い音域を出せます。明るく華やかな音色で、技巧的な技を見せたり、主要なメロディーを奏でることが多い楽器です。

ヴィオラ

ヴァイオリンより一回り大きく、音域は人の声に一番近いと言われています。合奏の中では味わい深い低音で演奏に厚みを加え、ハーモニーをつくるために重要な役目をしています。

チェロ

見た目、音ともに存在感がある楽器。音域の広いチェロの独奏では、優雅かつダイナミックな演奏を聴くことができます。

コントラバス

全長が約170~200cm程度あり、人間ほどの大きさがあります。力強い低音で音楽を支えています。

代表的な演奏形態

楽器の種類や配置で形態の呼び名は様々に変化します。

カルテット (弦楽四重奏)

ヴァイオリン2本、ヴィオラ1本、チェロ1本で編成。“弦楽四重奏の父”ハイドンをはじめ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトほか現代に至るまで多くの作曲家が弦楽四重奏の名曲を生み出しています。この演奏形態は最も身近なかたちとして世界中で親しまれています。

オーケストラ

弦楽合奏にオーボエ、クラリネット、ホルン、トランペットなどの管楽器や打楽器が加わり、100人前後で演奏します。

チェンバーオーケストラ (chamber orchestra)

弦楽器、管楽器などの楽器を中心に、2人以上の少人数で編成されます。少人数だからこそ、演奏技術と音楽に対する精神的成熟は音に表れてきます。お互いが視線を交わし、音を聴き合う気配には親密性がある一方で、白熱するようなスリリングな音楽も味わえます。

TOTTORI CHAMBER ORCHESTRA

とっとりチェンバー オーケストラ

鳥取にゆかりある音楽家たち

NHK交響楽団監修のもと鳥取県文化振興財団が実施してきた「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」の受賞者や未来を期待される若手演奏家、県内を拠点に積極的に活躍し弦楽文化の振興に貢献する奏者、そして国内外でオーケストラなどに所属して活躍する奏者で構成しています。

- Q1 演奏家として一番大切にしていること、自身のテーマ
- Q2 近年、チャレンジ・探求していること、または、コロナ禍における音楽家の今
- Q3 これから弦楽合奏をもっと聴いてみたいと思っている方に「聴いて欲しい曲」と、その理由
- Q4 あなたにとって「鳥取」とは



桑本 ゆうき

Yuki Kuwamoto / 倉吉市出身・湯梨浜町在住
ヴァイオリン教師

- Q1 私の演奏や言葉が子どもたちの心の引き出しに残っているような、役に立つレッスンをしていきたい。
- Q2 日常的に音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の素晴らしさを広めたいと活動しています。
- Q3 ハイドン：弦楽四重奏第77番 作品76-3「皇帝」
クラシック音楽は日常に溶け込んでいることも多いですが、第2楽章の旋律は、ドイツ国歌に用いられており、各パートが代わる代わる弾くので音域の違いも楽しめます。
- Q4 心地よい場所。

violin



竹田 詩織

Shiori Takeda / 鳥取市出身
「東京交響楽団」ヴァイオリン奏者

- Q1 音に忠実であること。
- Q2 バッハの無伴奏ソナタとパルティータの全曲に取り組むこと。
- Q3 ブラームス：弦楽四重奏曲 第1番
産みの苦しみを経て書かれた傑作です。
- Q4 いつも私を呼んでいる場所。

violin



時本 さなえ

Sanae Tokimoto / 鳥取市出身
ヴァイオリン奏者・指導者

- Q1 自分の本心からの音を出すこと、同時に、共演者の音を尊重すること。
- Q2 余計なことを考えず、素直な気持ちで演奏すること。
- Q3 バッハ：ブランデンブルグ協奏曲 アンサンブルの妙が、弾いていても、聴いていても、ワクワクすること請け合いです。
- Q4 ピュアな場所。

violin



山田 美怜

Mirei Yamada / 倉吉市出身・イタリア在住
「アヴォス・ピアノ・カルテット」ヴァイオリン奏者

- Q1 何十回と同じ作品を演奏しても、一度として同じ演奏をしないこと。
- Q2 バッハの「ヴァイオリンのための無伴奏ソナタ、パルティータ」全曲演奏会。ヴァイオリン奏者なら、一度は夢見る企画です。
- Q3 ブラームス：ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 作品25
室内楽を愉しむ上で親しみやすい作曲家はブラームスだと思います。中でもマスターピースである作品25の、ピアノと弦楽器が溶け合う様子は、ピアノ三重奏などとは違った、特別な魅力を感じます。
- Q4 私の心の住処。

violin



湯浅 いづみ

Izumi Yuasa / 鳥取市出身・在住
ヴァイオリニスト

- Q1 聴衆に音楽を通して喜びと幸せを与え、音楽の素晴らしさを伝えることの出来る演奏者になること！
- Q2 2020年はベートーヴェン生誕250周年なので、出来るだけベートーヴェンの作品にチャレンジしていきたいです。
- Q3 チャイコフスキー：弦楽セレナーデ 作品48 ハ長調
弦楽合奏としては最高峰の曲！深く美しい音楽なので、11月3日のコンサート会場でぜひ聴きください。
- Q4 最も自然体でいられる場所。

violin



生原 幸太

Kota Ikuhara / 北栄町出身・大山町在住
音楽家

- Q1 自分の時間。
- Q2 オリジナル作品を創作すること。
- Q3 ザ・ビートルズ
様々なジャンルの音楽や文化が取り入れられた作品は斬新で、50年以上経った今聴いても古びることがなく、いつ聴いても新鮮な感覚で聴くことができます。
- Q4 育ったまち。

viola



眞家 利恵

Rie Shinka / 米子市在住
ヴァイオリニスト・ヴィオリスト

- Q1 1人で弾いていても、聴いていたでいる感覚を忘れない。
- Q2 演奏家にとっても日々の暮らしの積み重ねは大切。出来た時間で料理を作り、毎日を快適に過ごし、身体を元気に維持する。人生を楽しんでいます。
- Q3 クラシックだけでなく、いろいろなジャンルの音楽を聴いてみてください。
- Q4 生きる場所。

violin / viola



棚橋 恭子

Kyoko Tanahashi / 鳥取市出身
ヴィオリスト

- Q1 オープンマインド。
- Q2 バッハの「ヴァイオリンのための無伴奏ソナタ、パルティータ」「無伴奏チェロ組曲」をヴィオラで演奏すること。
- Q3 いろいろな作曲家の弦楽四重奏曲
とにかく素晴らしい体験です。聴くことはもちろん、演奏するとその魅力を何倍にも感じられます。
- Q4 心の栄養を蓄える場所。

viola



門脇 大樹

Hiroki Kadowaki / 倉吉市出身
「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」チェロ奏者

- Q1 毎日いろいろなことを考えてしまい、何が一番大切かはまだ模索中です。
- Q2 まさにこのTCOです。もっと定期的に演奏会が開けるようにしたいです。
- Q3 シューベルト：ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ
ゴールドベルグとルプーの演奏がおすすです。本当に素晴らしい作品と演奏だと感じるからです。
- Q4 とにかく落ち着く場所。

cello



時本 野歩

Nobu Tokimoto / 鳥取市出身
アレクサンダーテクニックにはまっています

- Q1 全力で演奏する。
- Q2 自作自演 (制作途中です！)。
- Q3 素敵な曲はたくさんあります。好きな作曲家を見つけるのが楽しいかも。
そして、曲の有名なところだけでも良いので、いろいろと聴いてみるのが良いと思います。
- Q4 鳥取はオアシスです。

cello



中嶋 寄恵

Yorie Nakashima / 鳥取市出身
フリーランス

- Q1 健康第一。
- Q2 ヴァイオリンを始めました。チェロとの違いを改めて感じています。
- Q3 ブクステフーデ：主よ、あなたさえこの世にあれば (Herr, wenn ich nur dich hab)
1668年の曲で宗教音楽ではありますが、とても美しい旋律です。ぜひ聴いてみてください。
- Q4 特別な場所ではなくて、好きな場所。

cello



灘尾 彩

Aya Nadao / 米子市出身
チェリスト

- Q1 自分の中のいろいろな引き出しを増やすこと。
- Q2 健康でいること！
- Q3 チャイコフスキー：弦楽四重奏曲 第1番「アンダンテ・カンタービレ」
チャイコフスキーのカルテット、2楽章の名曲。初めて生で演奏を聞いた時にあまりの美しさに衝撃を受けたのを覚えています。弦楽合奏版でもよく演奏される曲なので、TCOでもいつか演奏出来たら嬉しいです(^^)。
- Q4 大切な場所。

cello



村岡 苑子

Sonoko Muraoka / 北栄町出身
チェリスト

- Q1 音楽を好きでいること、自分が音楽を楽しむこと。
- Q2 自宅でのレコーディング、作曲、YouTube。
- Q3 シュトラウス：メタモルフォーゼン〜23の独奏弦楽器のための習作
聴いたらわかります!!!
- Q4 頑張ろうという気持ちを思い出させてくれる場所。

cello



神庭 智子

Satoko Kamba / 鳥取市出身・米子市在住
コントラバス奏者

- Q1 曲に取り組む時は、好き嫌いを置いてフラットな気持ちで始めること。
- Q2 年に1回はチャレンジな曲、編成でリサイタルをすること。今まで鳥取では聴けなかった曲を、皆さんには是非知っていただきたいです。
- Q3 シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」ドヴォルザーク：弦楽五重奏曲 第2番
コントラバスの入った貴重な室内楽曲です。バス弾きとしては外せません(笑)。
- Q4 ホームグラウンド。

double bass